

受賞者の喜びの声

善行表彰を受賞して

愛知県豊橋市 豊橋市立羽田中学校



この度は、令和二年度春季善行表彰を賜り、心より感謝申し上げます。本校の校訓は「雨ニモマケズ」です。有名な宮沢賢治の詩の冒頭の一節です。明るく・たくましく、心豊かな人間の育成をめざし、心身ともに調和のとれた生徒を育てるとい

うことを目標に生徒と共に教育活動をすすめています。

昭和五十年より行っている「牟呂用水浄化活動」は、「地元を流れる牟呂用水を美しく保ちたい」という思いから始まった活動です。校区の自治会の方々と協力したり、小学生と一緒に活動したりするなど、活動形態は変化していますが、毎年行ってきました。また、平成二十三年に東日本大震災が起こった際には、生徒会がすぐに呼びかけ、街頭募金を行いました。それ以降、春休みに豊橋駅で毎年、募金活動を行っています。全校生徒の半数以上が参加します。集まったお金は、各地の被災地に送ってきました。これからも、心豊かで

地域社会に貢献できる生徒を育ててまいりたいと思います。

善行表彰を受賞して

長崎県諫早市 高等学校生活科学科



この度は、春季善行表彰を賜り、心よりお礼申し上げます。本活動は生活科学科で学ぶ生徒が、調理実習で作った昼食を持って学校

近隣の一人暮らしの高齢者のお宅を訪問して交流する活動です。平成七年に始まったこの活動は現在二十七年目、訪問回数は二百回を超えました。学校の農場で採れた卵や米、野菜も使用した季節感あふれる献立は高齢者の方に好評で温かい昼食を前に話がはずみます。高校生にとっては人と人のふれあいの温かさや、コミュニケーションの大切さ、礼儀やマナーを高齢者にとつても、若い高校生と過ごす時間はとても楽しいものであり、毎月の訪問を楽しみにしてくださっています。地域社会の様子が大きく変化する中、高齢者と接する機会が減っている現代の高校生たちが地域の高齢者を身近に感じる貴重な体験であり、これからも大切に守り続けていきたいと思っております。

支部だより

香川県支部

詐欺被害防止、折鶴交通安全、善行会知名度アップの合体キャンペーン

県内における特殊詐欺被害(昨年被害額一・六億円)が、依然として甚大であることに加え、人口当たりの交通事故死者が、全国ワースト上位を占め続けているため、当会員が随時、無人のATM設置場所付近を中心に、各所でこのキャンペーンを繰り広げている。キャンペーンは、詐欺被害防止のパンフレットに合せて、当会のパンフレットと交通安全の折鶴を新型コロナウイルス



①特殊詐欺被害防止 ②折鶴の交通安全 ③善行会知名度アップの合体街頭キャンペーン

感染拡大防止に配慮しながら丁寧に手渡しして安心安全な地域づくりを図っています。また、折鶴は当会佐世保支部会員(濱武隆支部長)の方々が、真心を込めて作った交通安全や幸せ祈願の折鶴であること、当会は毎年、一二〇名ほどの長寿の会員の方が、皇太子さまや皇嗣さまの御接見の栄を賜っている、稀にみる崇高な素晴らしい団体であることとを申し添えて、当会の

知名度アップにも努めました。当キャンペーンで、折鶴の有難さに感謝を込めた住民の笑顔の反応を見て、爽快な元気を頂き、善行活動の意欲に燃える会員たちの今日この頃です。

訂正とお詫び

七月号の川柳で齊藤勉様の川柳が「晴き世も」と掲載されていましたが、正しくは、「暗き世も」です。ご迷惑をおかけしました事を深くお詫びを申し上げます。

善行川柳

選者 東 逸平

入会のおさそい	
一般社団法人日本善行会では、善行の表彰並びに善行精神の普及と実践を通じ、明るく住みよい社会環境づくりを努めております。活動をご支援いただくために、広く会員をおさそい下さい。	
会員の種類	年会費
①普通会員(正会員)	個人 年額 五千元
法人	年額 一万円
②特別会員(正会員)	個人 年額 三万円
法人	年額 三万円
③賛助会員	個人 年額 千円以上
※明るいニュース年間購読料五百円含む	

ふる里自慢

四国中央支部

支部長 野村 勝廣

ふるさと文化を守り育てる

四国中央市は、愛媛県の東端、香川県に隣接する人口約八万六千人の中大都市です。紙産業の盛んな所で、臨海に集積する同種工業地帯としては世界一の規模を誇り、紙製品の売り上げ高も十四年前連続日本一という実績を誇ります。わが市には、四つの国



指定文化財があります。その一つについてご紹介いたします。それは「下柏の大柏」と呼ばれるイブキジャクシンの巨木についてです。かつては、この地域の地名の「柏村」は、この大柏にちなんでつけられたものでした。

大正十三年に、国の天然記念物に指定された。当時は、この木の周りに、田畑しかない独立樹たったそうですが、今や

周囲は住宅街になりました。巨樹の根元の空洞には、江戸時代中期に地域菩薩が祭られており、古くから地域の人々に信仰の対象であったことを物語っており、畏敬の念をもって崇められていたように思われます。この木は、新日本名木百選にも選ばれており、平地に樹勢するイブキとしては日本一ではないかと言われている。根回り一四・三m、目通り八・三四m、樹高約一四mで、樹齢千二百年を越すとされ、古くから「下柏の大柏」として知られています。元来、イブキは成長が遅くて、このような



巨樹になるためには極めて長い年月を有するものだそうだが、地域住民が代々大切に守り育ててきたからこそ今日のような巨木に成長したものでしょう。

つい最近までは、柏の木は近くに住む人たちが「柏の木保存会」を結成してお世話をしてくれていたのですが、高齢化が進んだために環境整備が追い付かなくなったため

に、昔の大きな単位の「松柏」地域全体でお世話することにしました。丁度私が地域の協議会長をしており、地域全体に呼びかけ、新たな保存会を結成しました。保存会の会合を幾度も重ねて整備計画について話し合いを進めてきました。代々地域の人が守ってきたもの、それは地域の宝として地域住民がみんな守り育て、後世に残していかなければならないという思いを共有して、取り組むが実現したものです。勿論、善行会の人達もそれに協力してくれているの言うまでもありません。



そこで私は、この巨木を長寿のパワースポットとして皆さんに親しんでもらいたいと思っております。どうか皆さん、四国中央市にお越しの際には、是非ともお立ち寄り頂き、その威容を誇る柏の木から長寿のパワーをもらってほしいと願っています。

評/久しぶりに郊外でマスクを外し、両手を広げて爽やかな空気を吸い込む人の笑顔が列島を包む。いいなあ、その日をじっと待つ。
《マスクを外し》が効果を高めています。
○近頃は 器量褒めずに マスク褒め 東京都 鎌倉 倉湖
評/良いですね。時代感覚をピシッと収めた名句です。昔は「マスク美人」と言って、マスクをしている女性は皆、美人に見えたが、コロナ禍のせいでは色とりどりのマスクに目を奪われますね。
○疫病に ステイホームの 振り返り 東京都 神鳥谷知己
評/素晴らしい。世相をスマートに抉り抜いています。三密回避のゆとり安心!グルメとステイを満喫出来る新しい生活様式を生み出した人間様の偉大な知恵の振り返りだぞ!恐れ入ったか。
○コロナ禍に 打ち勝ち福祉の 厚み増し 大分県 佐藤 満洋
評/負けない、折れない、くじけない。頑張る私達に福祉の共助精神が大きく羽ばたきましたね。福祉の心がぐんと厚みを増してきましたね。とても良い句です。